

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	
事務事業名	福祉施策紹介冊子作成費		事業コード	11210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	~63年度
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

高齢者保健福祉計画

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
高齢者を対象とした福祉、介護保険、保健、医療、年金、税金等の制度及び各種事業を全般的に掲載した冊子及び高齢者向けの一般在宅福祉サービス紹介パンフレットを作成し、相談窓口や出張所等で配布することにより、高齢者向けの施策についての周知を広く行い、サービスの利用促進を図る。		市民、高齢者福祉関係事業者	
		対象数	約46,000世帯
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者のためのふれあい福祉ガイド」の作成、配布 発行部数6,500部 「高齢者在宅福祉サービスのご案内」の作成、配布 発行部数15,000部 <p>主な配布先：庁内相談窓口、各出張所、社会福祉協議会、民生委員、在宅介護支援センター、高齢者福祉施設、介護保険居宅介護支援事業者及び指定サービス事業者等</p>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	高齢者保健福祉計画
		計画年次	12年度～16年度
		高齢者保健福祉計画に基づき、サービス情報提供体制を整備する。	

4 評価指標

指標名	ふれあい福祉ガイド発行部数の伸び率(前年比)	在宅福祉サービスパンフレットの配布見込数に対する配布実績率
指標式	当年度発行部数 / 前年度発行部数 × 100	配布部数実績 / 配布見込数 × 100
指標設定の意図	発行部数の伸び率により、周知度を表す	配布実績率により周知度を表す

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	89	150	a 108	b 100	100
指標			c 100	d 100	100
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	444	420	932	960
	人員・時間数	39H	131H	62H	85H
	人件費	163	548	259	355
	その他経費	0	0	0	0
	合計	607	968	1,191	1,315
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 104.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{108.0}{100.0} \times 100 = 108.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$	$\times 100 =$	$\times 100 =$
理由 :	利用が多く、増刷を行っている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	高齢者向けの施策のみを網羅した冊子は他になく、引き続き冊子・パンフレットを発行する必要がある。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	増刷分は市内印刷にて作成しているが、帳合・製本の単純作業を正職員が行っており、非効率な面がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市が実施している高齢者福祉施策の紹介であるため、市が実施すべき。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	各分野のサービスを網羅しており、市民の利用に対し増刷もしている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	サービスについての情報提供は、適正なサービス利用を促進する前提となるものであり、有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 配布方法の改善など、サービス情報を必要としている市民に、より確実に周知を図る方法を検討する必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 増刷作業を、人件費の低い非常勤職員に依頼すれば、作成費をより低くできる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	町田市は、高齢者福祉のしおりを高齢者全世帯に配布しているが、内容は最低限のポイントに絞ったシンプルなものである。
今後の進め方		説明	本市の「高齢者のためのふれあい福祉ガイド」は、各分野の高齢者向け施策を網羅したものであり、内容が充実していることが市民にも好評となっており、保健福祉サービスの周知を図る上で必要であると考え、今後、掲載内容を精査し、単価をおさえるなど部数を伸ばす検討をしていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--